



HDMI ケーブル補償器

# VLC-30HDMI

---

取扱説明書 Ver.1.2.3

この度は、HDMIケーブル補償器「VLC-30HDMI」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。  
「VLC-30HDMI」は低価格ながら高い品質を持っています。本製品の性能を十分に引き出してご利用いただくために、ご使用前に必ず、この「取扱説明書」をお読みください。  
また、お読みになった後は、本製品近くの見やすい場所に保管してください。

## 安全に正しくお使いいただくために

以下の内容は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の人々への危害や損害を未然に防止するために、重要な事柄が書かれています。

設置やご使用の前には必ずお読みください。

尚、本警告、注意事項は、弊社製品に広く共通する内容ですので、ご購入いただいた製品によりましては該当しない項目もございますので、ご留意の上お読みください。

 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取扱をすると人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示します
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が障害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します

## 絵表示の例

	この記号は、警告・注意を促すことを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。 右図の場合は「感電注意」⇒	
	この記号は、禁止行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。 右図の場合は「分解禁止」⇒	
	この記号は、行為を強要したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。 右図の場合は「電源プラグを抜く」⇒	



# 警告

□異常状態の（煙が出ている、異音・異臭がする）ときは電源プラグを抜く-----



煙が出ていたり、変な臭いや音ができるなどの異常状態で使用を続けると、漏電や火災の原因になります。すぐに使用中止し、機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、当社営業部に修理をご依頼ください。

お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

□ふたは絶対に開けない-----



この機器のふたははずさないでください。感電の原因になります。

この機器を分解、修理・改造しないでください。火災・感電の原因となります。

内部の点検・調整・修理は当社営業部に依頼ください。

□指定以外の電源電圧で使用しない-----



表示された電源電圧以外の電圧で使用しないで下さい。

火災・感電の原因となります。

□指定以外のヒューズは使用しない-----



表示されたヒューズ以外のものは使用しないで下さい。

火災・感電の原因となります。

□機器内部に物や水を入れない-----



この機器の開口部（通風孔など）から金属類や可燃物などの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないで下さい。火災・感電の原因となります。



万一、異物が機器内部に入った場合は、直ちに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて当社営業部に連絡ください。そのまま使用を続けると、火災・感電の原因となります。



万一機器内部に水などの液体が入った場合は、直ちに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて当社営業部に連絡ください。そのまま使用を続けると、火災・感電の原因となります。



□電源コードが破損するようなことはしない-----



電源コードの上に重いものを乗せたり、コードが本体の下敷きになったりしないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

電源コードが痛んだら(芯線の露出、断線など)、当社営業部に交換をご依頼ください。そのまま使用を続けると、火災・感電の原因になります。

□不安定な場所に置かない-----



本体を不安定な台の上や傾いた場所などに置くと、転倒・落下して怪我をする恐れがあります。また、故障の原因となります。

□雷が鳴り出したら電源プラグには触れない-----



感電の原因となる恐れがあります。

□電源プラグは、すぐ抜ける場所にあるコンセントに差し込む-----



異常発生時、直ちに電源プラグをコンセントから抜けるよう留意してください。

□電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む-----



ショートや発熱により、感電、漏電、火災の原因となります。

また、たこ足配線はしないで下さい。

 **注意**

□湿気や埃の少ない場所、直射日光の当たらない場所に置く-----



湿気や埃の多い場所や、直射日光の当たる場所に置かないでください。  
火災・感電の原因となることがあります。

□通風孔をふさがない-----



この機器の通風孔をふさがないで下さい。  
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

□お手入れの時は電源プラグを抜く。抜くときは必ず、プラグを持って抜く-----



お手入れの際は安全の為に、必ず、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。また電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いて下さい。



電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

□この機器の上に重い物を置かない-----



重い物や、本体からはみ出るような大きな物を上に置くと不安定になり、倒れたり落ちたりして怪我の原因になることがあります。

□長時間使用しない時は電源プラグを抜く-----



電源が「切」でも機器に電気が流れていますので、感電の原因になることがあります。



□濡れた手で電源プラグを抜き差ししない-----



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。  
感電の原因になることがあります。



□定期的に電源プラグのチェックを行う-----



長期間、電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておくと、その間に埃やゴミが溜まってきます。さらに空気中の水分などを吸収すると、電気がながれやすくなるため(トラッキング現象)、プラグやコンセントが炭化し、時には発火の原因になることがあります。事故を防ぐ為、定期的に電源プラグがしっかりささっているか、埃が溜まっていないかなどを点検してください。

□本体付属の専用 AC アダプタまたは、電源コード以外のものは使わない-----



付属のもの以外をご使用になられますと、不適合により火災や感電の原因になることがあります。

\*標準付属品の AC 電源コードは 100V 系国内専用です。海外など 200V 系でご使用になる場合は、弊社までご相談ください。

□使用温度/湿度範囲、保存温度/湿度範囲を守る-----



使用の際は使用温度/湿度範囲、保存の場合は保存温度/湿度範囲を守ってください。範囲を超えて使用を続けた場合、火災や感電の原因になることがあります。

□他の機器と接続するときは、接続する機器の電源を切る-----



他の機器と接続するときは、接続する機器の電源を切り、それぞれの取扱説明書に従ってください。電源を切らずに接続を行うと、火災や感電の原因になることがあります。

□ゴム足のお取り扱いについて-----



ゴム足付きの製品の場合は、ゴム足を取り外した後にネジだけをネジ穴に挿入することは絶対にお止めください。内部の電気回路や部品に接触し故障の原因になります。再度ゴム足を取り付ける場合、付属のゴム足、付属のネジ以外は使用しないでください。

## 目次

1. 概要 .....	9
2. 特長 .....	9
3. 各部の名称と説明 .....	10
4. 使用時の注意事項 .....	11
5. コネクタの接続 .....	12
6. コネクタのピン配列 .....	14
7. 仕様 .....	15
8. 故障かな？と思う前に .....	16

# 1. 概要

VLC-30HDMIは、Ver.1.2a対応のHDMIケーブル補償器です。

入力側のTMDS信号をイコライジングし、ケーブルによる信号の劣化を全自動で最小限に抑えることができる装置です。

# 2. 特長

1920 × 1080p までの高解像度信号に対応

全自動補償

当社指定ケーブルで最長 50mの延長伝送が可能

床や壁などに固定設置するための専用プレート付

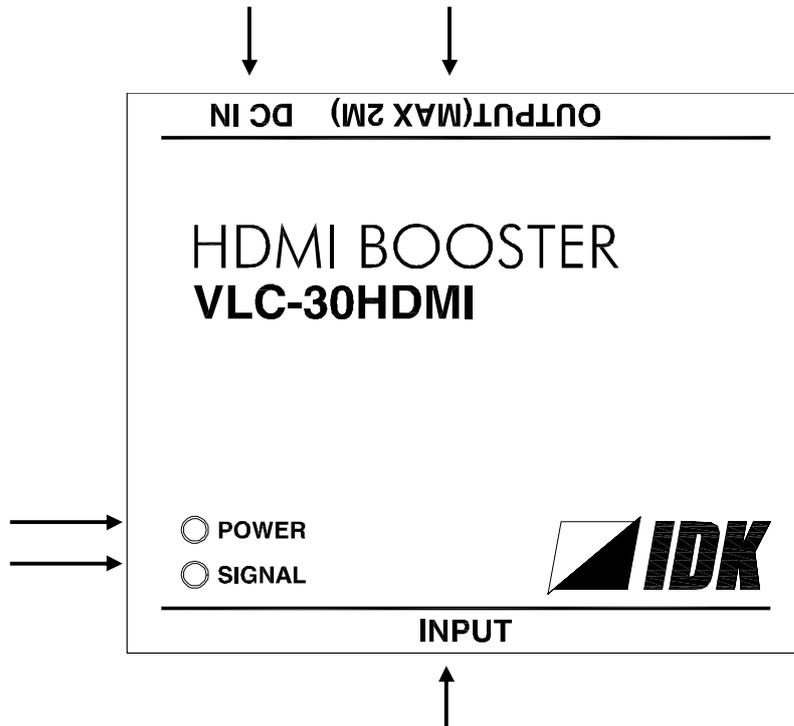
入力信号到達確認用 LED 付き

ソース機器のHDMIコネクタから電力を供給するため電源が不要

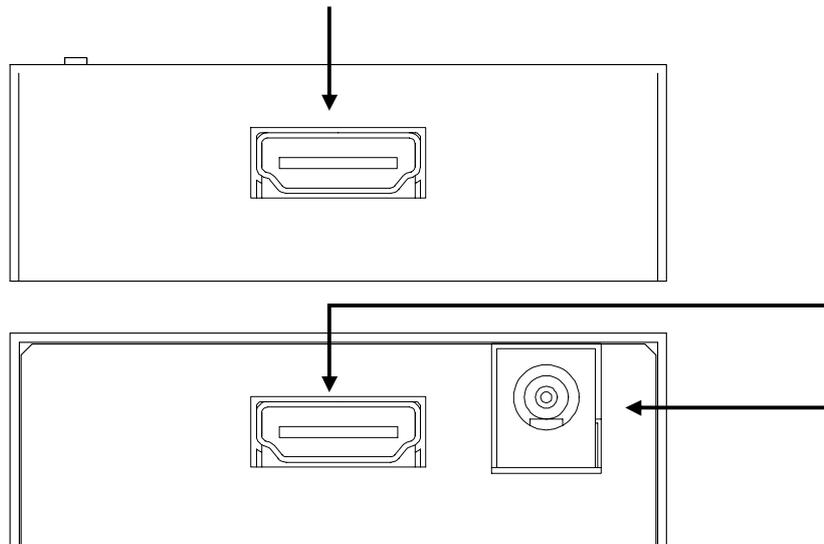
(注) 供給電力が不足している場合は AC アダプタを使用する必要があります。

### 3. 各部の名称と説明

上部



前面/背面



電源コネクタ	ソース機器からの電力が不足している場合に付属の AC アダプタを接続します。
入力コネクタ	HDMI 信号の入力端子です。DVD 等のソース機器を接続します。
POWER LED	ソース機器もしくは AC アダプタから電力が供給されると緑色に点灯します。
SIGNAL LED	本機が TMD5 クロック信号を受信すると緑色に点灯します。
出力コネクタ	HDMI 信号の出力端子です。HDMI 対応モニタ等を接続します。

## 4. 使用時の注意事項

- 1) 付属のACアダプタ入力電源は、AC100～240ボルトです。  
電源投入の前に、電源電圧の確認をしてください。
- 2) 信号入出力ケーブルは、正しくピン配置のされたHDMIケーブルを使用してください。
- 3) 出力ケーブルは2m以内のケーブルを使用してください。
- 4) 入力ケーブルは、弊社推奨のケーブルを使用してください。
- 5) 通常はソース機器から供給される電力にて動作しますが、電力が不足している場合は正常動作をしませんので、付属のACアダプタを使用してください。  
ACアダプタを接続すると、電力の供給が自動的にACアダプタへ切り換わります。

\* 本機に接続されたモニタに、正しく映像が表示されないときや、表示画面が乱れるときなどは「8. 故障かな?」と思う前に「16ページ」をご参照ください。

## 5. コネクタの接続

- 1) VLC-30HDMIの入出力にはHDMI Type A(オス)コネクタのケーブルを使用してください。



VLC-30HDMI の出力ケーブルは2m以内のケーブルをお使いください。  
2mより長いケーブルをお使いの場合、画面にノイズが出る可能性があります。

- 2) 入力側のケーブルは弊社推奨ケーブル(AWG24)をご使用ください。

### 推奨ケーブル型番

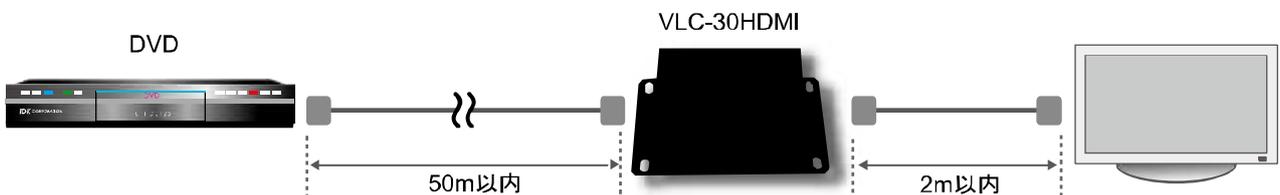
- 10m : HDMI/HDMI24-10  
20m : HDMI/HDMI24-20  
30m : HDMI/HDMI24-30  
40m : HDMI/HDMI24-40  
50m : HDMI/HDMI24-50

推奨ケーブル以外を接続した際の距離保証は致しておりません。実機接続にてご確認ください。

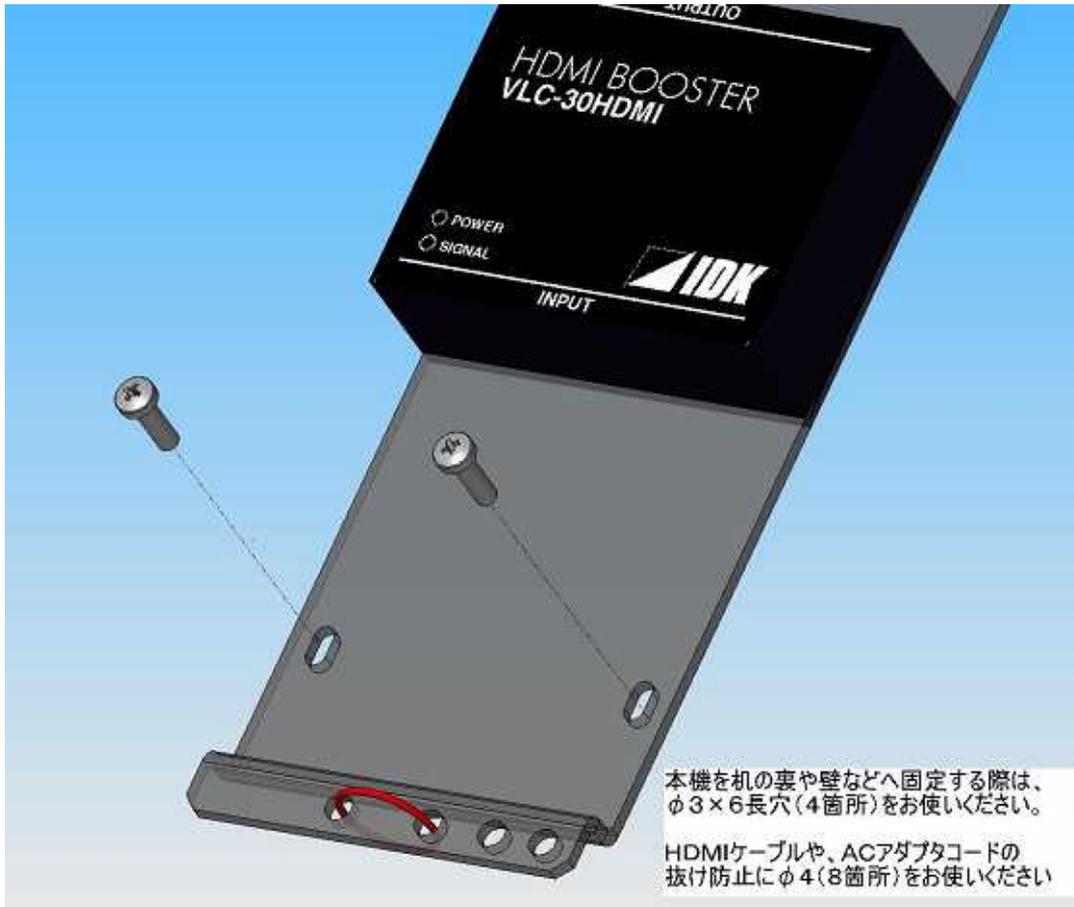
型番は変更になる可能性がありますので営業担当までお問い合わせください

AWG(American Wire Gauge:電線の導体サイズを表す単位)

### 接続例



3)ケーブルの抜け防止に、固定用の穴(8箇所)をプレートに設けてあります。結束バンド等で固定することをお勧めします。また、プレートは長穴(4箇所)部で壁や床に固定してください。



## 6. コネクタのピン配列

HDMI Type A

1	TMDS Data2+	2	TMDS Data2 Shield
3	TMDS Data2 -	4	TMDS Data1 +
5	TMDS Data1 Shield	6	TMDS Data1-
7	TMDS Data0+	8	TMDS Data0 Shield
9	TMDS Data0-	10	TMDS Clock+
11	TMDS Clock Shield	12	TMDS Clock-
13	CEC	14	Reserved (NC)
15	SCL	16	SDA
17	DDC/CEC Ground	18	+5V Power
19	Hot Plug Detect		

## 7. 仕様

VLC-30HDMI	
入力チャンネル数	1ch
出力チャンネル数	1ch
入出力信号	TMDS シングルリンク HDMI 1.2a HDCPパススルー
表示色	24ビットフルカラー (1677万色)
ドットクロック	25MHz ~ 165MHz
入出力コネクタ	Type A (19ピン)
入出力適合ケーブル	HDMIケーブル/当社指定ケーブル (指定ケーブル以外の場合、入出力部の最大延長距離を参考に接続テストしてください)
対応解像度	480i/480p/720p/1080i/1080p
入力部最大延長距離	50m(注)
出力部最大延長距離	2m
その他の仕様	
電源電圧	DC5V(専用ACアダプタ付属)
消費電力	約2W
外形寸法	80(W) × 20(H) × 50(D)(但し突起物含まず)
質量	0.5kg
使用温度範囲	0 ~ +40
使用湿度範囲	20 ~ 90% (但し結露なきこと)
保存温度範囲	-20 ~ +80
保存湿度範囲	20 ~ 90% (但し結露なきこと)
付属品	ACアダプタ、固定用プレート

本機は受信側 (モニタ側) に設置してください。

付属の AC アダプタは本機専用品です。他の機器にはご使用にならないでください。

(注) IDK製ケーブルを使用し、1080p 60Hz 24bit/pixel(8bit/component)の信号を入力した場合の最大延長距離です。

また、全ての入出力機器との接続において延長距離を保証するものではありません。他社製のケーブルを使用した場合や、接続する入出力機器によっては、記載された距離の範囲内でも、映像が乱れたり、映像が出力されなくなる場合があります。

## 8. 故障かな？と思う前に

本機がうまく動作しない時などは、以下の点をご確認の上(株)アイ・ディ・ケイ本社 営業部または技術部までご連絡ください。

- ・本機および接続されている機器の電源は投入されていますか？
- ・ケーブルは正しく接続されていますか？
- ・ケーブルの接触不良はありませんか？
- ・機器に適合した正しいケーブルを使用していますか？
- ・接続している機器同士の信号規格は適合していますか？
- ・表示装置(モニタなど)は正しく設定されていますか？
- ・機器の近くにノイズの原因となるようなものはありませんか？

故障の連絡をする際には以下の点を事前にテストしてください。

1. 全てのチャンネルで同じ現象がでますか？  
-はい- -いいえ-
2. 本機を全く介さずに、純正のケーブルで接続したときは  
正常に動作しますか？  
-はい- -いいえ-

株式会社アイ・ディ・ケイ本社 営業部または技術部

TEL (046)200-0764 FAX (046)200-0765

月曜～金曜 AM9:00 ～ PM5:00



株式会社アイ・ディ・ケイ本社 営業部または技術部

TEL (046)200-0764 FAX (046)200-0765

月曜～金曜 AM9:00～PM5:00

発行日 2010年06月23日 Ver.1.2.3\_C

\* 本書は改善の為、事前の予告無く変更することがあります。

\* 本書の無断転載を禁じます。